

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター大平台担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和7年6月25日（水） 10時00分 ～ 11時00分
2 開催場所	入野協働センター ホール
3 参加者	入野地区：4名 篠原地区：6名 関係機関：9名
4 協議の内容	<p><u>1. 開会</u></p> <p><u>2. 委員紹介</u> 新年度最初の会議ということもあり、名前・所属・最近の所属の状況についてそれぞれ自己紹介をしてもらった。</p> <p><u>3. 会長・副会長の選任</u> 互選により選任された。</p> <p><u>4. 昨年度の振り返り</u> パワーポイント資料を基に、昨年度行われた計3回の会議を振り返った。 第3回の会議の際、R7年度は「高齢者のサポートについて」「地区社協活動のPR」という2つのテーマに沿って深掘、協議していく。</p> <p><u>5. 協議事項</u> ○今後の協議体について 5月末に行われた事前打合せにて、今年度のテーマ選定と大まかな方向性について話し合い、昨年度に引き続き以下の2つをテーマとする。 ①高齢者のサポート（ゴミ出し） 包括大平台より、本テーマについて多く寄せられる相談内容であるゴミ出しについて発表をしてもった。 包括大平台で対応をしたゴミ出しに関する事例を3点報告された。 【次回に向けて】 既にゴミ出し支援について仕組みがある篠原地区の実情や課題、入野地区ではゴミ出し支援にも関わる家事支援について、色々と協議された上で取り組みをしていない実情がある。 まずは地域で何ができるのか協議していく。</p>

②地区社協活動のPR・継続に向けて

CSWが受講した講義内容で、本テーマに関する内容があったため紹介。

コロナ前は地域で集いの場が行われていたが、コロナを機に集いの場が中止せざるを得ない状況になった。そのことにより介護認定率・認知症出現率が上昇。

また、従来は「運動機能が低下すると社会性が低下する」と言われていたが、コロナを機に「社会性が低下すると運動機能が低下する」ということが明らかになった。

これからの介護予防の姿は、「対象：すべての高齢者」「めざすもの：社会参加」「サービス活動：居場所・集いの場・支え合い」であり、地域で暮らし続けるための生活支援・地域づくりが必要。

5/26「入野地区社協 ボランティア・サロン交流会」

6/4「市社協事業 サロンボランティア交流会」では、参加者の減少やボランティア・担い手不足について課題が上がった。

【次回に向けて】

サロンや地区社協活動を継続していくためには何ができるのかという点について話し合いをする。

そこで例えばサロン参加者を確保するための周知方法の検討や、新たなボランティア確保のための養成講座の必要性など出た場合には、それらの開催に向けても検討していく必要がある。

6. 連絡事項

○次回 協議体会議開催日

日時：令和7年9月30日（火） 10:00～

会場：篠原協働センター ホール

○次回 事前打ち合わせ開催日

日時：令和7年8月29日（金） 10:00～

会場：舞阪支所 3F 防災対策室

5 今後の見通し・ 必要な対応

▼次回会議について

2つのテーマについて話し合いをする。

①高齢者のサポート（ゴミ出し）

市社協より、全国各地で行われているゴミ出し支援の事例を紹介。

地域で出来ることは何かグループワークで話し合う。

②地区社協活動のPR・継続に向けて

主にサロン活動の継続に向けて、現状の困りごとや課題をグループワークで話し合う。その課題について、地域で出来ることは何か話し合いをする。